

## (2) 令和5年度の事業概要

### I. 文化財保護課の体制

久留米市		〒830-8520 久留米市城南町15-3 bunkazai@city.kurume.lg.jp			
		課長	チームリーダー	監督職	職員
市長 原口 新五	文化財保護課 <b>井上 英俊</b>	埋蔵文化財 課長補佐(兼)主査 白木 守	主査 小澤 太郎 事務主査 江島 伸彦	本田 岳秋 廣木 誠 西 拓巳 小川原 励 長谷川 桃子 <b>河野 美帆</b> 水原 道範(再) 米澤 美詠子(会) <b>江藤 玲子(会)</b> 今村 理恵(会)	
副市長 橋本 政孝 森 望	センター所長 <b>井上 英俊</b>	保存活用 課長補佐(兼)主査 丸林 禎彦	事務主査 塚本 映子 神保 公久 穴井 綾香	熊代 昌之 大塚 麻理子 村上 春海	
教育長 井上 謙介				文化財収蔵館 寺崎 勝美(会) 石橋 久美子(会) 田中 淳子(会)	
市民文化部長 竹村 政高					
市民文化部次長 <b>古賀 裕二</b>					
文化財保護課 0942-30-9225 (埋文) 0942-30-9322 (保存) 0942-30-9323 (管理) FAX 0942-30-9714					
埋蔵文化財センター 0942-34-4995 FAX 0942-34-5045					
文化財収蔵館 0942-38-6194 FAX 0942-34-5045					
西町発掘調査事務所 TEL/FAX 0942-37-7687					
六ツ門図書館展示コーナー 0942-27-9281 FAX 0942-27-7281					
有馬記念館 TEL/FAX 0942-39-8485					
	(公財)久留米絣技術保存会 事務局長 <b>井上 英俊</b>	事務局次長 丸林 禎彦		大藪 住江	
	(公財)有馬記念館保存会 事務局長 <b>井上 英俊</b>	事務局次長 <b>甲斐田邦彦</b>	書記 岡崎 明美 穴井 綾香 大塚 麻理子 村上 春海 <b>田村 貴子</b>		
		<b>管理</b> 課長補佐 <b>甲斐田邦彦</b>	事務主査 岡崎 明美	<b>豊増 南弥子</b> 小川 和範 荻野 翼 <b>田村 貴子(再)</b> 山中 貴子(任)	
			六ツ門図書館展示コーナー 事務主査 鹿田 章(再)	大田 佑子(会)	

(再)は再任用職員、(会)は会計年度任用職員、(任)は任期付短時間勤務職員の略。

朱書きは令和5年度当課配属職員

## II. 埋蔵文化財調査事業

### 1. 事前確認及び発掘調査事業

令和5年度は、緊急対応事案が多く発生する傾向にある。なお、戸建て住宅や宅地分譲など民間開発は減少することなく高止まりしている。

令和5年度 発掘調査一覧（令和5年12月31日現在）

調査番号	遺跡名	調査期間	調査原因	担当者
202105	益生田古墳群第5次調査	令和3年4月14日～調査中	保存目的	江島
202214	安武三反野遺跡第7次調査	令和5年1月10日～令和5年5月26日	道路建設	西
202301	十八銭亀遺跡第1次調査	令和5年4月24日～令和5年10月5日	社会福祉施設	長谷川
202302	庄屋野遺跡第15次調査	令和5年4月18日～令和5年5月2日	個人住宅	廣木
202303	鬼木遺跡第3次調査	令和5年5月11日～令和5年6月20日	宅地造成	小川原
202304	筑後国府跡第313次調査	令和5年5月10日～令和5年5月11日	確認調査	廣木
202305	西郷遺跡第2次調査	令和5年5月16日～令和5年5月17日	確認調査	廣木
202306	念仏塚遺跡第9次調査	令和5年6月5日～令和5年11月13日	道路建設	西
202307	筑後国府跡第314次調査	令和5年6月13日～令和5年7月19日	確認調査	廣木
202308	東櫛原今寺遺跡第10次調査	令和5年7月18日～令和5年8月18日	確認調査	小川原
202309	へボノ木遺跡第76次調査	令和5年8月18日～令和5年10月25日	共同住宅	廣木・河野
202310	庄屋野遺跡第16次調査	令和5年8月23日～令和5年9月8日	個人住宅	小川原
202311	筑後国府跡第315次調査	令和5年10月19日～令和5年12月26日	店舗建設	長谷川
202312	高三瀨遺跡第14次調査	令和5年10月19日～令和5年12月12日	個人住宅	小川原
202313	安武三反野遺跡第8次調査	令和5年11月13日～調査中	道路建設	西
202314	筑後国分寺跡第46次調査	令和5年11月29日	個人住宅	小川原・河野

### 2. 埋蔵文化財センター

平成27年度より国庫補助事業「地域の特性を活かした埋蔵文化財活用事業」を受け、筑後国府跡の再整理を行っている。令和5年度は、在国司館地区出土品の再整理を行っている。また、久留米城下町遺跡第1次調査（三本松町遺跡）の出土品再整理を開始した。

その他、発掘調査を終え報告書が刊行された遺跡について、出土品を含む記録類の受け入れを行い、資料の貸出や閲覧に対応できるよう、資料を管理し収蔵する。

### Ⅲ. 文化財保存・整備事業

令和5年度に係る事業は、美術工芸品1点の修復、建造物関連事業2件、史料調査事業3件、史跡等の整備に係る事業2件、名勝・天然記念物保存事業1件、令和4年度に登録された2件の筑後川遺産情報発信などである。

#### 1. 有形文化財

##### (1) 収蔵資料補修事業

令和5年度の収蔵資料補修事業は、5ヵ年計画で「戸田勘吉書簡集」について、熊本市の富永米山堂に委託し実施している。

##### ①現状

虫損は少ないものの、折れが多く発生している。表紙及び見返しは本紙から外れている。巻末紙にも損傷が見受けられる。

##### ②修復方針

改装せず、卷子装として修理を行う。各本紙の天地に保護紙をつけ、裏打ちにより厚みを揃える。折れた箇所や将来折れる可能性がある箇所には、美濃紙を細く切った折り伏せを入れる。表紙及び巻末紙は補修紙をつけて再使用し、八双竹及び軸首は新調する。太巻芯を添えて収納保存する。

##### ③工期

令和5年5月から令和6年3月（富永米山堂工房で実施）

##### (2) 建造物関連事業

##### ①歴史的建造物等調査事業

令和4年度から引き続き、草野町に所在する県指定文化財の須佐能袁神社について詳細調査を実施した。その成果は令和6年度に報告書として刊行予定である。また、令和5年5月に国登録有形文化財に意見具申した旧國武合名会社倉庫、旧國武合名会社綿糸部店舗及び倉庫が、令和5年11月に文化審議会から答申を受けた。今後も市内の歴史的建造物について、国登録有形文化財へ意見具申を行っていく予定である。

##### ②大善寺旧庫裏の修復事業

市指定有形文化財である大善寺旧庫裏について、経年劣化や自然災害により雨漏りが生じていたため修理事業を実施した。修理は令和5年8月から開始し、12月下旬で完了している。また、雨漏りの他にも蟻害も確認されたため、防蟻処理も実施している。

## 2. 記念物

### (1) 史跡等の整備に係る事業

#### ① 筑後国府跡歴史公園整備事業

令和5年度は公有化を3件実施し、関連して移転補償費の物件再算定調査1件、測量調査5件、不動産鑑定3件を実施している。また、公有化した指定地の除草など、管理事業も引き続き実施している。なお、令和5年3月現在の公有化面積は、40159.89㎡(台帳及び実測面積)で、国・市有地を含めると公有化率は95.15%となる予定である。

#### ② 史跡等解説板の改修

市内に所在する史跡等の解説板について、老朽化により判読できないものなど2件について再設置および改修を行った。対象は、県指定有形文化財「安国寺木造釈迦如来坐像」、城島町下青木所在の「鐘崎三郎墓」である。

### (2) 名勝・天然記念物保存事業

#### ① 県指定天然記念物「柳坂曾根のハゼ並木」剪定事業

例年1月下旬から2月上旬に地元と協力を図り、剪定作業を行っているが、本年度は高所部分の一部の剪定と施肥のみ実施する予定である。

## 3. 久留米市文化財保存活用地域計画

令和3年7月に文化庁長官により認定を受けた本計画の推進に努めた。中でも、リーディングプロジェクトとして設けた筑後川遺産登録制度の第1・2号として「城島酒蔵ものがたり」「田主丸 祭りの賑わう里～地域をつなぐSDGs」が令和5年3月に登録されたことを受け、申請団体と協働して六ツ門図書館展示コーナーにて企画展を実施した。また、「城島酒蔵ものがたり」の申請団体である久留米市西部ツーリズム協議会とともに、「城島郷酒蔵街道をゆく」において筑後川遺産の情報発信イベントを開催しており、令和6年2月に開催予定の「城島酒蔵びらき」においてもPR予定である。

## 4. 歴史ルートづくり事業

### (1) 高良山総合調査

第2次調査「福聚寺所蔵歴史資料」(合川町、令和2年度～)は、令和4年度に続き陶磁器類の調査を実施した。また、令和6年度に向けて金工類のクリーニング(塵埃払い等)を行った。11月9日(木)、第3回久留米藩祈願寺・慈雲山福聚寺の曝涼(関係者のみ公開)を実施した。

第3次調査「旧高良山大猷院殿石燈籠」(本町、令和2年度～)は、実測及び拓本調査のデータ整理を行い、出所伝来にかかる関連資料を調査中である。

第4次調査「国分寺所蔵歴史資料」(宮ノ陣)は、九州歴史資料館との相互協力で、彫刻を中心に概要調査を実施している。書画類については、11月に九州歴史資料館において燻蒸を行った。

また、高良大社より協力依頼を受け、令和5年5月10日(水)・11月7日(火)に高良大社記録類

(近代資料)の曝書を実施し、10～11月に国の重要文化財指定記念「秋の特別公開」(高良大社宝物館)を開催した。

## (2) 梅林寺歴史遺産詳細調査

京町に所在する大名有馬家の菩提寺・梅林寺に所在する歴史遺産の詳細調査を進めている。令和5年度は、9代藩主有馬頼貴から拝領したと伝わる茶室(柳原より移設)の建造物調査を実施し、さらに次年度から国庫補助事業として開始予定の古文書調査について、凡その分量の把握と調査方針の検討を行った。

## (3) 情報発信事業

令和4年度に認定された筑後川遺産 第1号「城島酒蔵ものがたり」および第2号「田主丸・祭りの賑わう里～地域をつなぐSDGs」について、ストーリーシート10「城島酒蔵ものがたり」、ストーリーシート11「田主丸・祭りの賑わう里～地域をつなぐSDGs」を発行し、筑後川遺産と各構成遺産について周知を図った(3月発行予定)。また、六ツ門図書館展示コーナーにて令和5年9月23日(土)～12月10日(日)まで、企画展「筑後川遺産-城島の酒蔵・田主丸の祭-」を実施している。

## (4) 拠点管理事業

所管する歴史公園や史跡の管理清掃、草刈り、樹木剪定を行い、市民が来園・来訪しやすい拠点づくりに取り組む。また、災害を未然に防ぐために、高良山神籠石指定地の樹木伐採や、国史跡「下馬場古墳」「中原狐塚古墳」「前畑古墳」の樹木伐採など、史跡の保護に取り組んでいる。

## IV. 文化財の活用・周知普及

### 1. 公開・活用事業

#### (1) 久留米市六ツ門図書館展示コーナー

中心市街地に位置する「くるめりあ六ツ門」の六ツ門図書館（蔵書7万冊）は年間20万人の利用がある。また、同じ階（5階）に児童センターもあるため、休日には、家族連れの利用者も含め多くの市民が立ち寄る施設となっており、六ツ門図書館展示コーナーは文化財等歴史資料を鑑賞していただく施設として恵まれた環境にある。

より多くの市民の皆さんに市の歴史遺産の魅力を感じていただくことと目的に、年に2回の企画展を実施している。（下表参照）ひとつは、久留米市の歴史に関する産業や幕末の久留米、或いは人物などのテーマに応じ、市の収蔵資料を活用した展示を行い、二つ目は近現代の歴史資料の展示を行う「むかしの暮らし展」であり、毎年テーマを変えながら行っている。

令和4年度より「新収蔵資料紹介コーナー」を設け、令和元年度以降の新収蔵資料を毎月展示替えをしながら紹介している。

また、六ツ門展示コーナーに設営した昭和30年代の台所・居間を復元した「昭和のおうち」を活用し、小学3年生を対象とした体験学習を受け入れている。

#### 令和5年度展示会実施状況

No.	会期	展示会名	入場者(人)
1	4月8日～7月11日	カメラがとらえた久留米の100年	2,158
2	7月15日～9月7日	カメラがとらえた久留米の100年—平和の祈り編—	1,654
3	7月15日～9月7日	子ども達の平和へのメッセージ	1,654
4	8月25日～9月25日	関東大震災100年—久留米市文化財収蔵資料から	567
5	9月23日～12月10日	筑後川遺産—城島の酒蔵・田主丸の祭—	1,501
6	12月23日～3月24日	むかしの暮らし展—暮らしを変えた電化製品—	1,218
7	毎月	新収蔵資料紹介コーナー	—

※No.2・3は同時期に開催。No.5はミニテーマ展示として一角で実施。

※No.3は人権啓発センターが実施。

※入場者数は令和6年1月31日現在

#### (2) 久留米市埋蔵文化財センター

普及事業として、収蔵資料の貸出及び閲覧に対応できる体制を整える。

展示会等の公開事業としては、常設展示を行う。

### (3) 坂本繁二郎生家活用事業

生家では平成 22 年度の開館以降、様々な体験イベントを実施してきた。令和 2 年度以降コロナ禍により中止していたが、今年度は新型コロナ 5 類移行に伴い、イベントを再開した。

令和 5 年度は、福岡県による「子ども美術館・博物館無料鑑賞事業」を受けて、小中学生の入館料を無料化し、気軽に文化財に触れる機会を提供した。

【実績】令和 5 年度（令和 5 年 12 月 12 日現在）来館者数：2,543 人 貸室件数：11 件

#### <季節行事>

七夕まつり	期間：令和 5 年 7 月 6 日（木）～8 月 8 日（火） 内容：願い事を書いた短冊を笹竹に飾る
ひなまつり	日時：令和 6 年 1 月 30 日（火）～3 月 24 日（日）予定 内容：坂本家に伝わる雛人形の展示

#### <体験事業>

茶レンジこども茶会	期間：令和 5 年 7 月 30 日（日） 内容：市内小学生を対象にお茶の作法を学ぶ
中秋落語寄席	期間：令和 5 年 9 月 30 日（土） 内容：庭園を紙灯籠でライトアップし、落語、講談を行う
餅つき大会	期間：令和 5 年 12 月 16 日（土） 内容：市内小学生を対象に餅つきを行う

### (4) 歴史探訪

令和 5 年 12 月 23 日（土）に、「水沼の君の時代～ゆかりの地を訪ねて～」のテーマで、三瀦、大善寺、荒木地域の歴史遺産を巡るバスハイクを実施し、32 名が参加した。

### (5) 第 10 回からくり儀右衛門大賞小中学生創作作品展

久留米市美術館で開催された「久留米市理科作品展」に出品された創作作品（総数 579 点）の中から、優れた作品を「からくり儀右衛門大賞」久留米市長賞・久留米市教育長賞として選考した。

選考作品は市のホームページ・LINE で公開し、受賞者へは在籍校ごとに表彰していただいた。

### (6) 第 29 回全国重要無形文化財保持団体秀作展

重要無形文化財久留米餅を有する久留米市が加盟している全国重要無形文化財保持団体協議会（略称「全重協」）において、佐賀市、有田町（サテライト会場）にて秀作展を開催した。

〔秀作展〕

会期：令和 5 年 11 月 9 日（木）～11 月 26 日（日）

会場：佐賀大学美術館

〔サテライト展示〕

会期：令和5年11月11日（土）、12日（日）

会場：佐賀大学有田キャンパス

#### < 関連企画展 >

【有馬記念館】令和6年1月31日時点

展示会名	概要	入場者数
平常展：大名有馬家と久留米城下町	期間：令和5年4月29日（土）～ 同6年4月8日（月） 内容：歴代藩主の足跡や城下町に住む人々の暮らしぶりを紹介。会期中、2回の展示替えを行った。	1,482名
企画展：故事人物を訪ねる—久留米藩御用絵師の絵画からⅢ—	期間：令和5年10月21日（土）～ 同6年1月15日（月） 内容：久留米藩の御用絵師・三谷家の絵師たちが手掛けた故事人物画21点を紹介。	1,202名

## 2. 協働・支援活動

### （1）出前講座

市民向け講座として全庁的に取り組む「出前講座」では、文化財保護課は3つのメニューを設定。今年度から「久留米市文化財保存活用地域計画」の取り組みを基に、地域と協働で久留米の歴史について考えるメニューを追加。令和5年12月末までに44講座を受け付け、950人以上の利用があった。

- ① 私のまちの歴史と文化財
- ② 歴史を体験
- ③ 「歴史のまち久留米」の取り組み

### （2）学芸員実習受け入れ

令和5年度は、実施せず。

## 3. 刊行物等

### （1）久留米市文化財調査報告書

第448集 『安武遺跡群3』	令和6年2月
第449集 『田主丸古墳群3』	令和6年3月
第450集 『令和5年度久留米市内遺跡群』	令和6年3月
第451集 『庄屋野遺跡 - 第8次調査 - 』	令和6年3月



第 452 集 『久留米城下町遺跡－第 31 次調査－』

令和 6 年 3 月

第 453 集 『二本木遺跡－第 32 次調査概要報告－』

令和 6 年 3 月

以上 6 冊を刊行予定である。

## (2) その他の刊行物

・収蔵館ニュース 第 20 号

## (3) 文化財説明板作成設置

令和 5 年度は、「安国寺木造釈迦如来坐像」、城島町下青木所在の「鐘崎三郎墓」について改修を実施。また国の「地域の特色ある埋蔵文化財活用事業」の補助により、「竹野小学校校庭遺跡」及び「水分遺跡」の説明板を新設予定。